



# かけがえのない生命

📌 生命について感じたり、考えたりしたことを書いてみましょう。

年月日	年月日	年月日

## だれもが唯一無二の存在

広く高い空を見上げ  
果てしない宇宙を想像してみる  
自分はなんと小さな存在だろう  
しかし  
ここに立つ私は「私」しかない

満天の星を仰ぎ  
悠久の時の流れを感じる  
自分はなんとほかない存在だろう  
しかし  
ここにいる私は「私」しかない

果てしない宇宙の中にあっても  
はるか永劫の時の中にあっても  
この「私」は  
ただ一つの存在――  
二つとない存在――

私がかた一つの存在であるように  
私がかた二つとない存在であるように  
いまこの時を生きるだれもが  
いまこの時を生きるすべての生き物が  
私と同じ 唯一無二の存在  
ただ一度きりの尊い生命をもち  
他のだれとも違う  
かけがえのない生命をもつ

果てしない宇宙を想像し  
悠久の時の流れを思い  
感じている  
いまを生きる 確かな「私」を――  
いまここに在る 生命の重さを――

# 私が この地球上に デビューした日

■いままで、自分の誕生のときを振り返ってみる機会は何度かあったことでしょう。中学生になったあなたは、これから父となり母となり得る存在に、心もからだもより一層大きく成長していきます。■いま、あらためて自分の誕生のときを振り返ってみると、小学生のころとは違った感動があるのではないのでしょうか。

## その日のこと

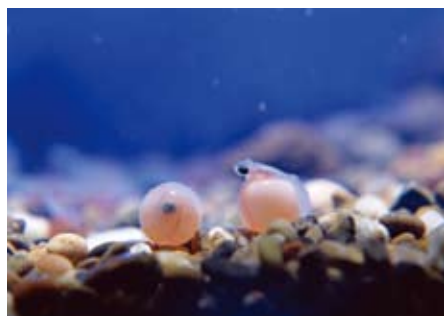
あなたは、何を思いますか。

それは

年 月 日 曜日

幼いころの自分

(写真やイラスト)



## 生命について学んだこと、感じたこと

道徳の時間で

年 月 日

\_\_\_\_\_で

年 月 日

生きようとする意志の本質は、  
じゅうぶんに生きぬこうとすることである。

シュヴァイツァー

ひとの<sup>いのち</sup>生命を愛せない者に、  
自分の生命を愛せるわけがない。

吉川英治『大岡越前』

生<sup>せい</sup>の<sup>よろこ</sup>喜びは大きいけれど、  
自覚ある生<sup>せい</sup>の<sup>よろこ</sup>喜びは  
さらに大きい。

ゲーテ

# 生と死について 考えよう

限りあるたったひとつの  
生命だから

## 生と死について思うこと

保健体育科で

年 月 日

理科で

年 月 日

\_\_\_\_\_で

年 月 日